

最近、いじめや学級崩壊、青少年の凶行などが社会的な現象として問題になっています。そうした中で、臨床心理学や教育心理学などの役割が人々に広く知られるようになりました。こうした実践的・応用的な心理学の分野が取り上げられる反面、心の基礎を実験などによって解明しようとする基礎的な心理学の分野が軽視されてしまう懸念があります。

このシンポジウムでは、ヒトの心を理解することに基礎心理学がどれほど貢献しているのか、また、それがどれほど応用心理学の可能性を高めていくのかについて紹介します。ぜひみなさんも心理学の幅広い見方で、様々な心の不思議を考えてみてください。

研究紹介：「動物の心を探る」長谷川寿一（東京大学）

動物の内的な世界を探ることは、人間自身の心をよりよく理解する上でも欠かせない仕事です。さまざまな研究例を紹介しながら動物の認知研究の面白さをお見せしましょう。

「記憶の秘密を探る」巖島行雄（日本大学）

記憶って何だろう。人間の記憶にはどのような種類があるのか、どうして歪んだり、忘却するのか、効率的な記憶の形成にはどのような方法があるのかを紹介します。

「私たちの見ている世界を探る」増田直衛（慶應義塾大学）

物理的世界と、日常の知覚世界との間には大きな違いがあります。私たちの見ている世界をあらためて見直して、知覚世界の豊かさについて新しい発見をしてみましょう。

座 談：「基礎心理学の魅力を語る」

田邊則彦（慶應義塾湘南藤沢中・高等部）

深田芳郎（帝京大学）

長谷川寿一・巖島行雄・増田直衛

司 会：坂上貴之（慶應義塾大学）

平成12年度 文部省科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公开发表(B)」補助事業

日本基礎心理学会公開シンポジウム

基礎研究が解き明かす心のはたらき

— 実験心理学への誘い —

日時：2000年9月30日（土）15時～19時

場所：慶應義塾大学 北館ホール

（J R 山手線・京浜東北線 田町駅，都営地下鉄三田線・浅草線 三田駅徒歩8分）

—— 駐車場はご用意できませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。 ——

対 象：大学で心理学を学んでみたい高校生を主な対象としますが、大学生や社会人の方などなたでもご参加下さい。

参加申込方法：往復葉書にてお申込下さい。住所・氏名・所属名（勤務先、在学学校名）を明記し、返信用の宛先に住所・氏名をご記入の上9月11日必着でお送り下さい。ホールの定員が200名ですので、応募者多数の場合は、先着順とさせていただきます。ご了承下さい。

公開シンポジウム参加申込先：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部心理学研究室 坂上貴之

電話 03-3453-4511 内線23035 <http://www.keio.ac.jp>

主 催：日本基礎心理学会 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学内

E-mail: kisoshin@lets.chukyo-u.ac.jp